

## 資料①

### 当連盟における「学校数制限の廃止」のねらい

1.	所属チームが 10 人に満たなく、大会の出場が行えないチームの選手へのプレイタイムの増加。
2.	同年代でのプレイの促進。 (FIBA は同一フロアでプレイするのは 2 学年差までと提唱しています。) [National Federations Manual] : FIBA <a href="http://www.fiba.com/national-federations/manuals">http://www.fiba.com/national-federations/manuals</a> (上記ページ内下部の[in English]をクリックしてください。総ページ 333P PDF 形式)

### ○当連盟における「学校数制限の廃止」の枠組み

#### ◇ 選手は所属チームを自由に選択できる事とする。

大会期間中の移籍は、既存チーム選手のプレイタイムに影響が出るので認めません。  
(資料③をご参照の事)また、選手が移籍をする事が出来る、チームとして受け入れる事が出来る範囲は新潟市内とします。

#### ◇ Team JBA の登録は必須とする。

移籍後は速やかに Team JBA への登録を行ってください。また、移籍元のチームは速やかに選手登録を解除して、選手がチームへの二重登録が無い様にしてください。

#### ◇ 移籍後の再移籍は可能とする。

大会期間外の移籍、新潟市内であれば再移籍は妨げません。

#### ◇ 「移籍・受入承諾書(別紙)」を利用して選手・双方の指導者間の理解を得る。

今回の制限廃止は「選手へのプレイタイムの増加」が目的です。当連盟では移籍に関するトラブルの仲裁・調停は行いませんので、必ず選手・保護者・移籍先指導者・移籍元指導者、全ての理解を得てから移籍をしてください。

#### ◇ 4 校以上で構成されたチームも上位大会に推薦する。

適正に運営されたチームは「第 49 回全国ミニバスケットボール大会からの変更について」の通り、上位大会(新潟県大会など)へは 4 校以上で構成されたチームも当連盟から推薦します。

#### ◇ 新チーム登録期間を定める。

新チームの創立などは新人戦前の1か月間のみと定め、チームの乱立を避け、選手のプレイタイムを確保します。

#### ◇ 二部トーナメント(もしくはリーグ)制度の導入

競技性が高く、強化を主旨としたトーナメントと、楽しく競技に携わり、普及を主旨としたトーナメントを設けて、全ての選手が生涯スポーツとしてバスケットボールに携わる事を目指します。(全員協議会内でアンケート実施:別紙結果をご参照ください)